

2022年5月6日 第3383回例会

於： 横須賀商工会議所



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱和> 「四つのテスト」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 王 冠博 様

*田丸屋不動産株式会社 取締役 石田 裕樹 様

<誕生日祝> *中村 正 (S.29.5.1) *徳永良輔 (S.9.5.4)

*山田 哲也 (S.40.5.14) *福島康人 (S.18.5.15)

*加賀本 好美 (S.42.5.18) *根岸文彦 (S.22.5.21)

*田邊 一三 (S.26.5.23)

各会員

<入会月祝> ・長尾和典 ・藤村昌一 ・伊藤隆義 ・齋藤眞且

・小林一博 ・新倉良是 ・松本好史 ・二瓶淨幸

・上田博隆 ・浅葉孝己 ・田中由紀子

各会員

<会長報告> *ガバナー事務所より

・2022-2023年度 地区補助金配分決定の件について

地区補助金支給クラブ説明会

5月12日(木) 15:00~17:00 於：第一相澤ビル6階「会議室」

<米山奨学生へ奨学金授与>



<委員長報告> *雑誌委員会 椿委員よりロータリー
一の友5月号

*出席委員会 猿丸副委員長より4月分出席報告 4月分平均出席率77.74%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
4月 1日	114名	104名	66名(4名)	38名	6名	69.23%
8日	114名	106名	81名(3名)	25名	2名	78.30%
15日	114名	106名	86名(5名)	20名	2名	83.02%
22日	114名	102名	77名(7名)	25名	5名	80.39%

<幹事報告> *週報・横須賀北RCより受領

<出席報告> *出席委員会 猿丸副委員長より5月6日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
-----	--------	--------------	-----	---------	-----

114名	104名	76名(7名)	28名	5名	77.88%
------	------	---------	-----	----	--------

<ニコニコ報告>

- ・三 役 米山奨学生 王 冠博様、ようこそお出でくださいました。
- ・小保内、加藤(備)、小山(備)、植 田、木 村、新倉(側)、江 沢、長 尾、上 林、松本(備)、佐久間、中村(田)、波 島、徳 永、鈴木(備)、小山(備)、前 川 各会員
本日のゲスト米山奨学生 王 冠博様ようこそおいでくださいました。例会をごゆっくりお楽しみください。
- ・中村(田)、徳 永、福 島、加賀本、田 邊 各会員 誕生月祝いとして
- ・長 尾、藤 村、齋藤(眞)、小林(-)、新倉(側)、田中(田) 各会員 入会月祝いとして
- ・中村(田) 会員 入会月祝いとして
- ・三 役 先日の地区研修・協議会ご出席の皆様おつかれ様でした。報告よろしくお願い致します。
- ・梁 井、中村(備)、比 護、大 石、大野(備)、小保内、杉 浦、福 西、田中(田)、瀬 戸、江 口、椿、植 田、加賀本、角 井、田 邊、猿 丸、岡田(備)、鈴木(田)、中村(田)、波 島、杵 渕、岩 崎、前 川 各会員
先日の地区研修・協議会に参加の皆様、お疲れ様でした。また、本日部門別に卓話される皆様ご報告を楽しみにしています。
- ・八 巻 会長 関口会員がポリオ募金箱を店頭において募金を続けているそうです。有難うございます。
- ・長谷川、三 浦、田 村、梁 井、田中(眞) 各会員 去る4月26日、サラリーマンロータリアン有志で「リーマンブラザーズの会」を、細やかに開催しました。これからも仲良くやりましょう。
- ・鈴木(豊)、馬 場、岡田(田)、笠 木、北 村、小林(-) 各会員 ゴールデンウィークも残りわずか、コロナ規制のない休日を気を引き締めつつ楽しみましょう。
- ・長谷川、齋藤(備)、小山(備) 各会員 ベイブルース以来、フェンウェイ・パークでの二刀流、11奪三振2安打1打点。凄いぞ！大谷翔平！！

<卓 話> 国際ロータリー第2780地区 2022年度 地区研修・協議会

1. 会長部門

前 田 長 生

相模原市民会館まで行って参りました。これは2年ぶりの地区研修協議会で、朝早くからドコモショップの前で皆さんと集合しまして、バスに揺られて行ってまいりました。当日は正午から全体会議があり、まず佐藤祐一郎ガバナーエレクト(津久井中央RC)の挨拶、その後次年度会長になるジェニファー・ジョーンズRI会長エレクト(カナダ・オンタリオ州ウィンザーローズブランドRC)の紹介がありました。

ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトのテーマ「Imagine Rotary」これは彼女の言葉ですけども「世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かそう」という内容でした。ジョンレノンの歌で「Imagine」という曲がありますが、そのように想像力を豊かに発揮して皆で頑張っていこうというメッセージだと思います。

この後会長部門の分科会(2780地区65名)があり、ガバナー、Gエレクト、Gノミニエの話でDEI(diversity;多様性 equity;公平性 inclusion;包摂性)の説明がありました。これはロータリー活動の心得や心の在り様を示しています。

SRF(shaping rotary future)の未来形成の話があり、世界のロータリーが組織改革を目指して世界中の地域を限定して2024年の7月よりパイロットを開始するとのことでした。しかし、私には初めての話で、どういう目的でこれからどのような組織改革が行われるのかイマイチよく分かりませんでした。そのうち具体的な話があるかと思えます。

クラブ会長就任に向けて、アドバイスと励ましの言葉をいただきましたが、会長エレクトに就任して以来次年度の企画を構想しながら、自分なりのロータリーについて勉強してきました。

ロータリーは変遷しているが、ロータリー活動の基本で変わらないものは親睦と奉仕であります。次年度の2大クラブ目標は①親睦を深めて、奉仕を实践すること、②3つの特別委員会の推進。本気で次期会長を務め、本気でやります。

2. クラブ管理運営部門

長尾和典

本部門の協議会には44名の参加者がございました。

冒頭、田中賢三パストガバナーから「楽しくてみんなのためになるロータリー」という主題でお話がありました。

それに続きまして、大隈秀仁ガバナー補佐から次年度RI会長のMs. JONESのスローガン「Imagine Rotary」について、噛み砕いた解説がございました。

そして次年度 地区のクラブ管理運営委員長の辻彰彦さんから下記のお話がありました。

1. ぜひ「My Rotary」にご登録いただきたい。
2. 登録すると、「Rotary International」のウェブサイトを見る事ができるようになります。
3. このウェブサイトの中の「Rotary Voice」「Rotary Show Case」を見ていただくと、他の地域のロータリー活動ではどのようなことをしているのかを見ることができます。
4. また、自分のロータリークラブがしている活動をここに登録いただくと、全世界のロータリーメンバーが見ることができます。
5. またロータリー公式アプリをダウンロードしていただくと、北海道から沖縄までの各ロータリークラブの例会などを見ることができます。

その後、参加者が8つのテーブルに分かれて、「クラブが活性化するためにはどのような事が重要か?」というテーマでディスカッションが行われました。そして、最後に各テーブルの代表者がそれぞれのテーブルでのまとめの発表をおこない、終了となりました。

3. 公共イメージ部門

中村清乃

公共イメージ部門の分科会は今年度地区公共イメージ委員会当間委員長による基調講演から始まりました。当間委員長はロータリーにとって公共イメージを向上することがなぜ大切なのかを丁寧にお話しされ、曰く、ロータリー会員が人道奉仕活動を行う→(それが知られると)ロータリーのイメージが向上する→活動を知った方が支援者となる→支援者の中には会員になる方もいる(会員増強)→会員が増えればさらなる活動を行うことができる、とイメージの向上が好循環の重要な要素となり、ロータリーの基盤が強化されること、またそのために公共イメージ委員の広報活動はもちろん、会員一人ひとりが「ロータリーとは何か?」を問われたら、簡潔に答えられるようにしておく等公共イメージを高める行動することが大切と強調されました。

次に登壇された大川次期地区公共イメージ委員長はSNSを活用した広報活動について話され、次年度の公共イメージのテーマ「Let's IINE (レッツ いいね)」をアクションと共に発表しました。

最後に寺田次期地区公共イメージ副委員長よりロータリーのビジュアルアイデンティティの扱い方についてレクチャーがあり、参加者からも積極的な質問がありました。公共イメージ・広報担当の重要性を再認識するととても良い機会となりました。ありがとうございました。

4. 会員増強部門

小林一博

私は会員増強部門の研修に参加してまいりました。

はじめに森パストガバナーから「多様性について考える」をテーマに基調講演を戴き、続いて次年度の委員長、副委員長から発表がありました。パストガバナーの基調講演の中で、佐藤ガバナーエレクトから次年度は、具体的な目標数字を設けず、クラブの主体性を大事にし、会員増強とともに会員維持にも努めて欲しいとの方針をお聞きしました。これは楽しいクラブ作りが、結果として会員増強につながるの考えからのようです。また今後は多様性の観点からも、女性会員と若い会員を積極的に増やす必要があるとの事でした。付け加えますと、当地区の女性会員の比率は34地区の中で2番目との事です。

続いて、委員長、副委員長の発表がありました。岩澤次年度委員長の発表をご報告させていただきます。委員長からは「クラブ増強委員長の役割」をテーマに発表がありました。会員増強には先ず、クラブ内の居心地良さを作る事、クラブ内の問題を浮き彫りにする事、その上で問題点を解決し、魅力あるクラブ作りを目指す事が必要であるとの事でした。そのためには会長の想いをクラブの会員に共有してもらう事と、増強活動の旗振り役になる事が特に大事であると説明がありました。その他、人が集まらないクラブの特徴や会員増強の意義について等、内容の濃い発表でした。また、地区委員会では各クラブの現状や課題などをヒアリングして、そのクラブにあった資料を作成し、卓話派遣を行って頂けるとの事でしたので、是非依頼させて頂こうと思っております。

次年度は私が会員増強、維持活動に向けて旗振り役となりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

5. 職業奉仕部門

田 中 由紀子

職業奉仕部門についての報告をさせていただきます。

まず、脇洋一郎パストガバナーより「初期ロータリーと職業奉仕」についてのお話がありました。

職業奉仕は①自らの事業の発展、②仲間のロータリアンへの職業上の知見提供、③一般社会への職業上の知見提供の3つの活動で成り立っていると説明がありました。

その後、職業奉仕活動実践事例発表といたしまして二宮RCの大岩会員と相模原中RCの丸子会員より今年度の活動報告がありました。二宮RCの大岩会員の発表では地域の小学生向けに「プログラミング教室」を行い、「物事を構築していく楽しさや、熱中することの素晴らしさを学んで欲しい」との思いがあり開催した。とのことでした。相模原中RCの丸子会員の発表では、月に1度若手の経営者を育てるための異業種交流会を行い、毎回講義のテーマを変えこれまで29回開催しているとの報告がありました。

最後に前沢弘之リーダーより職業奉仕とは、いかに自分たちの職業を洗練して、社会に役立つものにするかという真剣な取り組みが必要で、これまでこのような努力があったからこそロータリーは今日のような世界的な広がりを持つことができたとの話でした。

私も先人の偉大さに触れてロータリー活動の糧にしていきたいです。以上職業奉仕に関わる報告とさせていただきます。

6. 社会・国際奉仕部門

加 藤 淳

社会・国際奉仕部門に参加致しました加藤よりご報告致します。

当日は社会・国際奉仕に関する基調講演、各奉仕活動の取組みと事例紹介形式で行われました。

基調講演では秦野ロータリークラブの佐野リーダーより、RI戦略計画、奉仕の理想についてご説明を頂き、社会奉仕について茅ヶ崎中央ロータリークラブの田中様から「地域に必要な奉仕活動を運営するために必要なこと、それは①会員個々の得意な分野を活かすリソースネットワークの活用、②小さな奉仕でも取組む、③インター・ローターアクトと連携していく、④地域と協力していく、⑤可能な限り国際奉仕委員会と協力する」という5つのポイントについてのお話について、事例紹介では鎌倉中央ロータリークラブの梅澤様が地区補助金を活用した障がい者支援事業者と連携し「畑作りから芋栽培を行った農業体験」についてご紹介頂きました。

そして、国際奉仕では鎌倉東ロータリークラブの山口様より、今年度の国際奉仕委員長会議の様の中からは「コロナ禍で国外への奉仕活動が制限されている今、国内で困窮している外国人への支援からSDGsに結びつける新たな国際奉仕のあり方について」のお話について、事例紹介では鎌倉ロータリークラブの向井様よりフィリピンへ水道供給に加え、ハーモニカを寄付しましたが現地の方達は打楽器演奏が中心でハーモニカは利用しないことが分かり、改めて現地へハーモニカ指導に行き音楽発表会を開催した事例から「ただ物資を提供するだけでなく、実際現地の方の生活習慣を理解し奉仕することの必要性について」学んだ経験についてご紹介頂きました。

最後に今回の地区研修・協議会に参加し、改めて次年度新たな奉仕へチャレンジしていくヒントを得ることが出来ました。皆様のご協力のもと、横須賀ロータリーの新しい奉仕活動の形作りに微力ながら取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

7. 青少年奉仕部門

鈴 木 之 一

青少年部門はインターアクト委員会、青少年交換委員会、ローターアクト委員会、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）から成り立ち、青少年や若い世代の社会人との「つながり」を更に強化し、リーダーシップ能力を伸ばす支援を推進します。次世代のリーダーを育てることの大切さを、私たちのプログラムは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援します。また、すべての活動は青少年保護の観点で実施します。今回は特に「青少年保護の手引き」について重要課題のひとつとして、委員一人ひとりが理解をもって青少年と接する際は規範に沿った行動が必要です。また、ローターアクトはプログラムから加盟クラブになり、18歳以上からすべての若い成人の入会が可能となりました。そしてすべての地区委員会にRAを加えることが奨励されます。

【エノラロジー・インクの報告】

若者は私たちの未来です。YRCは、多くの才能あるメンバーを擁する強力で多様なクラブです。私たちは皆、私たちのコミュニティの若者と共有する何かを持っています。若い人たちとの関わりを広げて、今年を思い出深い年にしましょう。私は、すべての人が私たちの若者のための活動に参加するか、または主導することをお勧めします。ローターアクトクラブを支援するための提案や活動があれば教えてください。YRCのローターアクト委員長として、皆さんの経験や知恵を共有してより良い活動を行いたいと思います。このように青少年育成プログラムで学び、行動した青少年のネクストステップにローターアクトやロータリークラブを位置づけることも大切ではないかと考えます。

8. ロータリー財団部門

中村 正

財団というのは皆様の寄付で成り立っているということは知っておりましたが、奉仕プロジェクトや奨学金プログラムについての説明を受けました。奨学金プログラムというのは実はいろいろな人が受けていらっしゃるんですが、国連の難民高等弁務官事務所の緒方さんもロータリーの奨学金を使用して外国に行かれたというお話を聞いて、驚きました。内輪の話ですが、私の妻松岡りえこも実はロータリーの奨学金を受けようと思い、最終選考で見事に落とされたそうです。そんなことを言いながら、非常に大切なものだと思います。皆さんからの寄付を集めなければいけないのですが、一応1名につき200ドル、円安になったので実は240ドルくらいという話をしていました。大体日本円で約3万円弱くらいですね。幸い横須賀ロータリークラブは上位3クラブに入っています。第2位で405ドルです。本来であれば2番ではダメなものです。なぜかという1番でなければならないからです。委員長になったからには、なんとしてでも1番を目指したいと思います。宜しくお願いします。

9. 米山奨学部門

小山 美智恵

米山奨学事業の分科会では齋藤秀人米山奨学委員会副委員長の司会の元、2019年7月に開催された米山学友による世界大会、「絆 in モンゴル」のビデオの放映に始まり、米山記念奨学会の相澤（光春）常任理事による「ロータリー米山記念奨学会と奨学生」のお話と米山委員会三荒（弘道）委員長による「米山奨学生の現状と課題」のお話を伺いました。

休憩を挟み、厚木クラブの難波カウンセラー、横須賀クラブの八巻カウンセラーより奨学生引き受けクラブの体験談をお伺いしたあと、質疑に移り、率直な感想を交えた意見交換が行われ、常盤地区研修委員による総評で幕を閉じました。

次年度は、つくばでの世界大会が予定されておりますので、世界の架け橋となる米山学友と共にぜひ参加したいと思っております。

10. 研修部門

北村 理和子

最初に司会者から、各クラブに於ける研修や情報委員会の実態について質問がありましたので、横須賀RCの情報集会について説明しました。昨年制定した「中期ビジョン」に則り、今後の5大奉仕について、又、現状に則した奉仕活動とは、各テーブルに全員で意見交換を行いました。今後の奉仕活動に反映されるべく精査を行っていきます。と説明を致しました。

他クラブからは、会員アンケートを実施し意見を吸上げてみる、これらを情報集会の題材として「元気なクラブづくり」へと展開している、又、近年は地区のセミナー依存率が高いので、新会員に対するフォローアップの為にクラブ内で新会員セミナーを年2回実施する必要がある、との事です。

杉岡リーダーより、情報委員会、研修委員会はクラブ会長経験者の組織であるので、クラブ全体の運営についてアドバイスをを行い、又、クラブは単年度制であるため、RCの理念に則る継続的なクラブ運営を行うためにも当委員会が機能する事が重要である。との講演を伺いました。

11. 新会員部門

小保内 洋子

新会員部門に横須賀ロータリーから大野会員、杉浦会員と小保内の3名が出席しました。冒頭鎌倉ロータリーの菅原PGの挨拶で始まり、続いて「ロータリーの10徳」、「4つのテスト」、「ロータリーの五大奉仕」、「ロータリーの中核的価値観」に関して、それぞれレジメに沿って説明がありました。「ロータリーの五大奉仕」に関しては、田邊会員より横須賀ロータリーでの国際奉仕であるセブ島の口唇口蓋裂の治療の活動が紹介されました。また、「4つのテスト」に関しては、改めて歴史的背景と解釈を深く勉強しました。ほとんどの時間を使いディスカッションとなり、菅原PGより「出席者がフリーでそれぞれ発言を」とマイクが渡り、それぞれ各クラブの特徴や各会員のクラブに入会した動機や活動における悩み、特に活動に参加するにあたり家族の理解を得る方法等が沢山発表されました。なお、横須賀ロータリーを代表して大野会員が当クラブの紹介をしました。菅原PGが繰り返しおっしゃっていたのは、新しい風を吹かすことが大事、「Enjoy Rotary」、ロータリーを良く知って理解し、ロータリーを好きになる、楽しくなければロータリーではない！新しい会員も古い会員も平等である、今日は新会員と会えて嬉しくてしょうがない、と繰り返しおっしゃっていました。菅原PGは御年78歳とのことでしたが、出席者内で一番元気で生き生きとしていらっしゃるのがとても印象的でした。帰りのバスは外が大雨であることを忘れてしまうくらいの盛り上がりで、相模原から横須賀中央まであつという間に到着しました。ロータリーの理念を深く意識することができた貴重な一日でしたことを報告させていただきます。

12. 幹事部門

瀬戸 映男

次年度幹事の瀬戸でございます。前田次年度会長のもと役目を果たして行きたいと存じます。大荒れの天候の中での開催となりました「地区研修協議会 in 相模原」でした。全体会議では、佐藤ガバナーエレクトの地区方針「取り戻そう」と「記憶に残る年にしよう」の二つのスローガンが熱く語られました。また、ジェファニー・ジョーンズ国際ロータリー会長エレクトの次年度のテーマ「Imagine Rotary」が発表されました。

分科会では、4人のリーダー、サブリーダーの方からは幹事の役割として、クラブ会員の話を聞く、会員に声をかける役割(フォローする)、情報伝達等。会長との連携を密にすることが大事である。何よりも、幹事とは「要」であるとの意識を強く持ちクラブ運営に携わることが必要であるとのことでした。

活発なクラブの運営には、事前の準備を行うことが重要であるとのことでした。帰りのバスの中では、次年度の取り組みについて活発な意見が飛び交う中、帰路につきました。

<閉会・点鐘> 13:30 八巻 会長

週報担当 田中 由紀子